

21世紀に向け新たな町づくり

年頭のごあいさつ

横芝町長 實川 堅司 郎



あけましておめでとうござい
ます。平成八年の輝かしい新春
を迎え、謹んでお慶びを申し上
げます。

町民の皆様には、平素より町
政運営に深いご理解とご協力を
賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、最近の我が国経済は、
為替相場の円安方向への動きや、
株式相場の上昇等明るい動きも
みられますが、一方、個人消費や
設備投資の回復が本格化せず、
雇用情勢も更に厳しい状況下に
あり、景気の回復は依然として
足踏み状態が続いております。

また、政局は、戦後五十年を迎
え、平和の尊さを認識したとこ
ろであり、沖縄の基地用地の借
地問題等が課題となっております。

す。

また、社会的にも、昨年は一
月の阪神・淡路大震災の発生に
より、新たな防災対策が課題と
なっており、更に地下鉄サリン
事件等社会不安を起こす大きな
問題が続発し、防災、防犯にも
種々の課題を残した年でもあり
ました。

また、県政においては、最終
年度を迎えた「さわやかハート
千葉五ヶ年計画」の目標に向け、
均衡ある県土づくりが進められ
ており、県民一人ひとりの「幸
せ」の実現を基調とした、平成
八年度から十二年度までの「千
葉新時代五ヶ年計画」の策定に
取組み、県民福祉の向上と県土
の均衡ある発展の一層の推進が
図られております。

町もこのような状況の中で、
町総合計画による第二次基本計
画に沿って事業の実施を進めて
参りました。財政的にも大変厳
しい中ではありましたが、議会
をはじめ町民皆さまの温かいご

協力をいただき、ほぼ順調に事
業の進捗を図ることができまし
たことを大変有難く存じている
ところでございます。

平成五年にオープンしたふれ
あい坂田池公園と共に、昨年は
スポーツ広場一期事業として整
備して参りました野球場やテニ
スコート、管理棟もオープンい
たし、町民の皆さまの憩いの場、
体力づくりの場としてご利用
頂いているところでもござい
ます。

特に、昨年は新生横芝町が誕
生して満四十年を迎えました。
この節目の年を契機として町も
これからは新しい時代に向かっ
て、更に環境を整え福祉の充実
や、産業の振興等を図りながら
調和のとれた町づくりを進めて
いかなければならないと考えて
おります。

私も昨年六月に、町民の皆さ
まのご支援ご協力により、二期
目の町政を担当させて頂くこと
になり早くも半年が経過いたし

ました。

今後とも議会をはじめ、町民の
皆さまの温かいご協力を頂き、
初期の目的に向かって各種の事
業を推進して参りたいと考えて
おります。

特に、本年は二十一世紀に向
かっての五ヶ年計画策定の大切
な年になります。町民の皆様や
議会のご意見、ご指導を賜りな
がら住みやすい町づくりをして
行きたいと考えておりますので
よろしくお願い申し上げます。

さて、平成八年度予算につき
ましては、現在編成作業中でご
ざいですが、年頭にあたり八年
度に計画しております事業概要
等を申し述べさせて頂きます。

スポーツ広場(二期分) の整備

一期分の野球場、テニスコ
ト等の整備に続いて、七年度か
ら陸上競技場、ゲートボール場
の二期分に着手しましたが、今
年度中に敷地造成工事が完了し
ますので、八年度から本格的な
工事を進め、総合的なスポーツ

施設の充実を図って参りたいと
考えております。

農業集落排水事業

公共下水道に先がけた木戸台、
町原、小堤、牛熊、谷台地区の
農村集落排水事業については、
関係地域のご協力を頂いて参り
ましたが、いよいよ八年度より
事業に着手し、生活環境の整備
を図って参りたいと考えており
ます。

横芝下総線バイパス 事業の推進

平成九年度の完成を目指して、
千葉東金道路二期の工事が進め
られておりますが、昨年十月に
は松尾地区関係工事の起工式も
行われ、全線が本格的な工事に
入りました。この道路が開通し
ますと、大総新道や県道横芝下
総線の利用車両の増加が見込ま
れるため、懸案でありますこの
バイパス事業は県事業でありま
すが、町といたしましても引き
続き用地確保等にできる限り協
力し、早期整備に努めて参りた
いと考えております。

ごみ焼却施設事業によ る環境整備

山武郡環境衛生事業振興組合
が整備を進めて参りましたごみ
焼却施設整備及びリサイクルプ
ラザにつきましては、平成七年